

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800020
事業所名	グループホームオーネスト桃花林

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ・地域の清掃活動や区民館の作品展に入居者とボランティアで作成した作品を展示したり神社の祭りなどに参加している。子ども神輿も訪れ賑わいを見せている。今年度は、防災訓練の一環として地域の方々と一緒に炊き出し訓練を実施した。日頃から、地域のボランティアを多く受け入れ、地域に根付く行事や風習、習慣など生活に密着した催しをボランティアと共に考え実施し、地域とつながりながら暮らせるようにしている。事業所の夏祭りにはボランティアの協力を得て、地域の方々や子どもたちも参加して盛大に行われ、地域の祭りとして親しまれている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ・会議は年に6回、入居者や家族、区長、市や地域包括支援センターの職員、ボランティア代表、職員、施設長、管理者が参加し開催している。運営状況の報告や地域情報の交換、アンケートなどの意見や要望を協議し、運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ・手続き書類等提出時に行政担当者に助言を受けたり、相談等にも気軽に応じてもらったりして、日頃から連絡を密にして協力関係を築いている。市の介護相談員の訪問により、ケアに関する情報交換や、相談などを積極的に行っている。また、管理者は認知症対応ネットワークコーディネイト委員会の会議に事業者連絡会の代表として参加し、包括支援センターと共働して、認知症に対する理解を地域に広めるように取り組んでいる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ・入居者からは日々のケアの中から意向を聞いたり、家族には来訪時のコミュニケーションを大切に意見や要望を聞き、運営に反映させるようにしている。家族会の行事折りは、3世代に渡る家族同士の微笑ましい交流を通して聴取した意見などを活かすように努めている。意見箱を設置したり、家族会開催時にアンケートを実施し、意見や要望を運営推進会議で検討して実施するようにしている。また、ホーム便りに、日頃の生活の様子を写真とコメントで載せ家族に知らせている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。